



校長通信

No.5 令和2年5月14日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

和歌山県の新型コロナウイルス感染症の罹患者が、少なくなって来ましたが、まだまだ気を許せない状況にあります。保護者の皆様には、拡散防止への取組に、引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

前号で、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーについて説明しました。今回、その他、学校を支えてくれるスタッフについて紹介します。

《学校支援サポーターについて》

今年度、和歌山県警察本部警察安全部少年課から学校支援サポーターを派遣していただいています。学校支援サポーターは警察 OB の非常勤嘱託職員で、毎日、中学校に常駐し、学校環境の改善を目的に、教職員と協力して事案に対応します。具体的な職務は以下のとおりです。

- 学校内外における巡視及び生徒への個別指導並びに安全確保
- 生徒の暴力、いじめ、喫煙等の非行事案、児童虐待等の犯罪被害事案等を把握した際の関係機関への情報提供及び連携
- 少年非行防止を目的とした各種規範意識向上のための活動
- その他少年課長が命じた事項

防犯・非行防止の経験豊富な学校支援サポーターと教職員が協力し、それぞれの専門性を生かしながら、子供たちの安全確保、非行防止、規範意識の向上等に向け、取り組んでいます。登校日には、校門前の横断歩道で、子供たちに優しく声をかけながら、交通指導を行って来ています。

《外国語指導助手（ALT）について》

外国語指導助手は、英語を母語とし、英語科担当教員を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える役割を果たします。Assistant Language Teacher を略して ALT とも呼ばれます。授業において、英語科担当教員と ALT がチームを組んで指導することにより、実際の英語に触れる機会が増え、英語のコミュニケーション能力の向上が期待できます。

和歌山市には9名の ALT がいて、各学校の1学級につき、年間12時間指導できるように派遣されます。本校には、アメリカ合衆国カリフォルニア州出身の男性の ALT が来て来ています。とても明るく、元気な先生です。現在は、授業がありませんが、登校日には、校門で、英語で子供たちに英語で挨拶して来ています。

How are you?と声をかけられて、I'm fine, thank you. と笑顔で自然に反応する生徒もいます。日本語は当然ですが、英語でも挨拶は、とても大切だと実感しました。

